(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2010-42178
(P2010-42178A)
(43)公開日　平成22年2月25日(2010.2.25)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A44B 17/00	(2006.01)	A44B 17/00		3B031
A41D 3/04	(2006.01)	A41D 3/04	R	3B100

審査請求 未請求　請求項の数 7　ＯＬ　（全 10 頁）

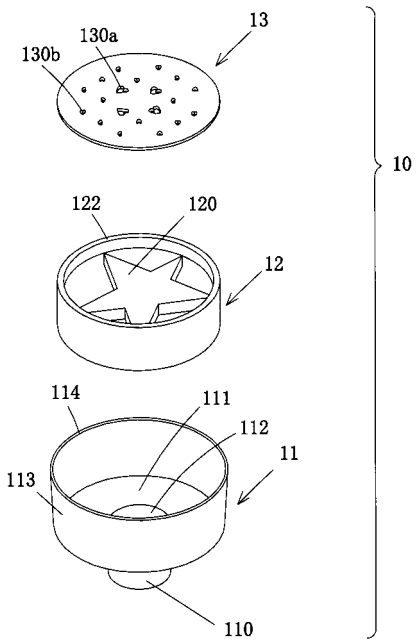
(21)出願番号　特願2008-209419 (P2008-209419)
(22)出願日　平成20年8月18日 (2008.8.18)

(71)出願人　000114606
モリト株式会社
大阪府大阪市中央区南本町４丁目２番４号
(74)代理人　100070507
弁理士　石田　俊男
(72)発明者　伊奈　寿章
大阪府大阪市中央区南本町４丁目２番４号
モリト株式会社内
(72)発明者　神谷　信孝
大阪府大阪市中央区南本町４丁目２番４号
モリト株式会社内

Ｆターム(参考)　3B031 AA14　AE19
3B100 CB02　CD01

(54)【発明の名称】雄スナップボタンとそれを含むスナップボタン、及びスナップボタンを有する物品

(57)【要約】
【課題】スナップボタン相互を脱着した状態であっても内側のスナップボタンに十分な装飾性を具備させることができ、且つ、スナップボタンとしての機能性が阻害されず、これまでにない優れた装飾性を発揮し得る構成を備えたスナップボタンの提供。
【解決手段】対となる雌スナップボタンの雌係合子に対応する雄係合子を備えた雄スナップボタンにおいて、雄係合子は、雄係合子主体と該雄係合子主体内に収納されるスペーサとを備え、前記雄係合子主体は、底部を有する上端側が拡径された筒状で、外径最大寸法（ｗ）が高さ寸法（ｈ）よりも大となる寸法とし、前記底部の中央には開口部を備え、且つ底部から下方へ前記開口部と連続する筒状のかしめ脚部を備えた構成とし、スペーサは、上面側を装飾部とし、前記雄係合子主体の上縁部を内側へ曲げ、前記スペーサの装飾部が外面に露呈した状態で当該スペーサを保持した構成とした雄スナップボタンを解決手段とする。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
スナップボタンを構成する雄スナップボタンにおいて、
雄係合子は、雄係合子主体と該雄係合子主体内に収納されるスペーサとを備え、
前記雄係合子主体は、底部を有する上端側が拡径された筒状で、外径最大寸法が底部からの高さ寸法よりも大となる寸法とし、前記底部の中央には開口部を備え、且つ底部から下方へ前記開口部と連続する筒状のかしめ脚部を備えた構成とし、
スペーサは、上面側を装飾部とし、
前記雄係合子主体の上縁部を内側へ曲げ、前記スペーサの装飾部が外面に露呈した状態で当該スペーサを保持した構成としたことを特徴とする雄スナップボタン。
【請求項２】
スペーサの装飾部が雄係合子の上端から突出しない構成としたことを特徴とする請求項１記載の雄スナップボタン。
【請求項３】
折り曲げた雄係合子主体の上縁部とスペーサとの間に装飾用薄板を設けたことを特徴とする請求項１又は２記載の雄スナップボタン。
【請求項４】
装飾用薄板が雄係合子の上端から突出しない構成としたことを特徴とする請求項３記載の雄スナップボタン。
【請求項５】
装飾用薄板は、スペーサの装飾部を外部から視認可能とするための視認用穴を有することを特徴とする請求項１、２、３又は４記載の雄スナップボタン。
【請求項６】
請求項１、２、３、４又は請求項５記載の雄スナップボタンを含むスナップボタン。
【請求項７】
請求項６記載のスナップボタンを備えたことを特徴とするスナップボタンを有する物品。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、生地、皮革等に対して取着するスナップボタンのうち、特に雄スナップボタンに関し、それを含むスナップボタン、及びスナップボタンを有する物品を含む。
【背景技術】
【０００２】
周知のように、衣服や鞄等において、生地や皮革相互の重合状態を保持可能とする係脱手段として、雌雄一対のスナップボタンが多用されている。このような周知のスナップボタンは、重合される生地のうち外側（表側）の生地に、表面に装飾部を有し且つ雌雄いずれか一方の係合子を有するスナップボタンを取着し、重合される生地のうち内側の生地には、表面側に対応する係合子を配置した状態で他方のスナップボタンを取着することで使用する。
【０００３】
上記周知の雌雄一対からなるスナップボタンは、雌雄のスナップボタンを係合した状態においては、雌スナップボタンの装飾頭のみが外部に表出した状態であるため、外観体裁は良好である。
【０００４】
しかしながら、スナップボタン相互を脱着した状態では、内側のスナップボタンの係合部が生地の表面側に大きく露出するため、見栄えが悪くなる。
【０００５】
一方で、本出願人は、スナップボタン相互を脱着した状態における、内側のスナップボタンの見栄えを良好とすべく、先に、周縁部を内方へ屈曲して装飾縁とするとともに中心

に結合用貫通穴を開設した底面平の受皿体に、ホック主体の底部を嵌着一体化して周囲に前記受皿体の装飾縁を囲繞したことを特徴とするスナップボタン（特許文献１参照。）を出願している。

【０００６】

また、内側のスナップボタンに装飾部品を備えたものとして、例えば、雌型ボタンと雄型ボタンとの組み合わせからなり、雌型ボタンは、頭部とこの頭部の中央下部に配設し外周に尾ネジを形成した脚部とを備え、頭部から脚部までを貫通して嵌合穴を形成した雌型ボタン本体と、筒部の下端にフランジ部を形成し筒部の内部に雌ネジを形成し筒部が雌型ボタン本体の脚部に螺着される雌型ボタン止着部材とからなり、雄型ボタンは、雌型ボタンの嵌合穴に挿入可能で、かつ、少なくとも嵌合穴の深さに対応する長さを有し下端面に開口する取付ネジ穴を形成した突軸部とこの突軸部の下端に形成したフランジ部とを備える雄型ボタン本体と、ネジ棒部の下端にフランジ部を形成しネジ棒部が雄型ボタン本体の取付ネジ穴に螺着される雄型ボタン止着部材と、雄型ボタン本体の突軸部の上端部に配設する装飾体とからなり、かつ、雌型ボタンの嵌合穴と雄型ボタンの突軸部とには係止手段を設けたことを特徴とするスナップボタン（例えば、特許文献２参照。）が公知である。

【０００７】

【特許文献１】実開平３－７９７１３号公報

【特許文献２】特開平３－４８０４号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００８】

上記特許文献１に係るスナップボタンは、金属もしくは合成樹脂製の受皿体の縁部を装飾部として使用することにより、スナップボタンの装飾性を向上させるものであり、上記した内側のスナップボタンにつき、装飾性を向上させることができる。しかしながら、上記特許文献１に係るスナップボタンをしても、内側のスナップボタンにおける係合部については、装飾性を向上できない点で、装飾性の向上は制限的なものである。

【０００９】

一方、特許文献２に係るスナップボタンは、内側のスナップボタンの係合部に装飾部品を備えた構成であるものの、当該係合部は、外側のスナップボタンを貫通した先端に取着した構成である。即ち、内側のスナップボタンの係合部の装飾は、外側のスナップボタンと一体として成立している。このため、スナップボタン相互を脱着した状態では、装飾部分が分離され、十分な装飾を保持できなくなる。

【００１０】

また、特許文献２に係るスナップボタンは、内側のスナップボタンの係合子が外側のスナップボタンを貫通する構成によって成り立つところ、外側のスナップボタンから内側のスナップボタンの係合子を引き抜かなければ外れないため、相当に過剰な負荷によるスナップボタン相互の離脱を防止する必要のある部分にしか向かず、通常の雌雄のスナップボタン相互の離脱容易性を有さず、雌雄スナップボタンの解除操作は、非常に行い難い。

【００１１】

本発明は以上の事情に鑑みてなされたものであり、スナップボタン相互を脱着した状態であっても内側のスナップボタンに十分な装飾性を具備させることができ、且つ、スナップボタンとしての機能性が阻害されず、これまでにない優れた装飾性を発揮し得る構成を備えたスナップボタンの提供を、発明が解決しようとする課題とする。

【課題を解決するための手段】

【００１２】

スナップボタンを構成する雄スナップボタンにおいて、雄係合子は、雄係合子主体と該雄係合子主体内に収納されるスペーサとを備え、前記雄係合子主体は、底部を有する上端側が拡径された筒状で、外径最大寸法（ｗ）が高さ寸法（ｈ）よりも大となる寸法とし、前記底部の中央には開口部を備え、且つ底部から下方へ前記開口部と連続する筒状のかしめ脚部を備えた構成とし、スペーサは、上面側を装飾部とし、前記雄係合子主体の上縁部

を内側へ曲げ、前記スペーサの装飾部が外面に露呈した状態で当該スペーサを保持した構成としたことを特徴とする雄スナップボタンを、課題を解決するための手段とする。

【発明の効果】

【００１３】

請求項１に係る発明によれば、雄係合子は、雄係合子主体と該雄係合子主体内に収納されるスペーサとを備え、前記雄係合子主体は、底部を有する筒状を有する構成としたことによって、スペーサで雄係合子主体を補強して雄係合子の強度を確保した上で、スペーサの上面側を装飾部とし、前記雄係合子主体の上縁部を内側へ曲げ、前記スペーサの装飾部が外面に露呈した状態で当該スペーサを保持したことによって、雄係合子の装飾性を高めることができる。

【００１４】

また、雄係合子主体の外径最大寸法が高さ寸法よりも大となる寸法としたことによって、雄係合子の離脱が容易となり、雌スナップボタンに対する雄スナップボタンの着脱操作性が向上する。

【００１５】

請求項２に係る発明によれば、上記請求項１に係る発明の作用効果を奏することに加えて、スペーサの装飾部が雄係合子の上端から突出しない構成としたことによって、雄スナップボタンと雌スナップボタンとの係合時において、装飾部が雌スナップボタンに接触することがないので、装飾部の摩擦等による傷の発生を防止し、装飾部の外観体裁を長期に亘って良好なものとすることができる。

【００１６】

請求項３に係る発明によれば、折り曲げた雄係合子主体の上縁部とスペーサとの間に装飾用薄板を設けた構成としたことによって、単に装飾性が向上するだけではなく、装飾用薄板によって雄係合子主体の上縁部の強度が増加し、堅牢で耐久性に優れた雄スナップボタンとすることができる。

【００１７】

請求項４に係る発明によれば、装飾用薄板が雄係合子の上端から突出しない構成としたことによって、雄スナップボタンと雌スナップボタンとの係合時において、装飾用薄板が雌スナップボタンに接触することがないので、装飾用薄板の摩擦等による傷の発生を防止し、装飾用薄板の外観体裁を長期に亘って良好なものとすることができる。

【００１８】

請求項５に係る発明によれば、請求項３と同様に、装飾用薄板によって雄係合子主体の上縁部の強度が増加することに加えて、スペーサの装飾面に形成された装飾が、装飾用薄板の視認用穴から視認可能となり、スペーサの装飾と装飾用薄板の装飾とが重なり合うことで、装飾用薄板の視認用穴からスペーサの装飾が表示され、遠近の異なる装飾がなすこれまでにない優れた装飾性を発揮することができる。

【００１９】

請求項６に係る発明によれば、スナップボタンにおける雄スナップボタンの構成について上記請求項１、２、３、４又は５記載の構成とすることで、従来公知の表側のスナップボタンの表面側装飾部と、本発明の特徴とする雄スナップボタンの装飾用薄板若しくは装飾部によって、雄スナップボタン及び雌スナップボタン相互の係止状態及び離脱状態のいずれにおいても、優れた美感を生じさせることができる。

【００２０】

請求項７に係る発明によれば、従来のスナップボタンを備えた物品、例えば、衣類（上着、下着、レインコート等）、袋物（例えば、鞄、財布、ケース等、硬質であっても軟質であってもよい。）、その他のものにおいて、使用することにより、雄スナップボタン及び雌スナップボタン相互の係止状態及び離脱状態のいずれにおいても、優れた美感を生じさせることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００２１】

本発明は、対となる雌スナップボタンの雌係合子に対応する雄係合子を備えた雄スナップボタンにおいて、雄係合子は、雄係合子主体と該雄係合子主体内に収納されるスペーサとを備え、前記雄係合子主体は、底部を有する上端側が拡径された筒状として、スペーサで雄係合子主体を補強して雄係合子の強度を確保し、前記底部の中央には開口部を備え、且つ底部から下方へ前記開口部と連続する筒状のかしめ脚部を備えた構成とし、スペーサは上面側を装飾部とし、折り曲げた雄係合子主体の上縁部とスペーサとの間に装飾用薄板を設け、該装飾用薄板は、スペーサの装飾部を外部から視認可能とするための視認用穴を有する構成として雄係合子の装飾性を高め、更に、雄係合子主体の外径最大寸法（ｗ）が底部からの高さ寸法（ｈ）よりも大となる寸法としたことで雄係合子の離脱が容易となり、雌スナップボタンに対する雄スナップボタンの着脱操作性が向上した雄スナップボタンを実現した。

【実施例】

【００２２】

図１は本発明の実施例１に係る雄スナップボタンの雄係合子の分解状態を示す斜視図、図２は同実施例１に係る雄スナップボタンの分解状態を示す断面図、図３は同実施例１に係る雄スナップボタンを取付対象生地に取着した状態を示す（ａ）正面図、（ｂ）縦断面図、図４は本発明の実施例２に係る雄スナップボタンの雄係合子の分解状態を示す斜視図、図５は本発明の実施例３に係る雄スナップボタンの雄係合子の分解状態を示す斜視図、図６は本発明の実施例１に係る雄スナップボタンと公知の雌スナップボタンを（ａ）取着前の状態を示す縦断面図、（ｂ）取着後の状態を示す説明図、図７は同実施例１に係る雄スナップボタンと公知の雌スナップボタンを生地に取着した状態を示すたて断面説明図、図８は本発明の実施例３に係る雄スナップボタンと公知の雌スナップボタンを（ａ）取着前の状態を示す縦断面図、（ｂ）取着後の状態を示す縦断面説明図である。

【００２３】

本発明の実施例１に係る雄スナップボタン１は、金属製の雄スナップボタン１であり、雄係合子主体１１と、該雄係合子主体１１を生地に取着するための座金２とからなる。図１及び図２に示すように、雄スナップボタン１の大半の部分が雄係合子１０となるものである。即ち、雄係合子１０の下端に一体としてかしめ脚部１１０を設けてあり、取付対象生地３に予め形成した取付穴３０に、取付対象生地３の表面側から前記かしめ脚部１１０を貫通させ、当該かしめ脚部１１０を更に環状の座金２に通し、該かしめ脚部１１０の先端をかしめるものであり、取付対象生地３の外面側には、雄係合子１０のみが設けられる構成である。以下、各構成について具体的に説明する。

【００２４】

本発明の実施例１に係る雄スナップボタン１の雄係合子１０は、図１に示すように、雄係合子主体１１と該雄係合子主体１１に収納されるスペーサ１２と装飾用薄板１３とからなる。本実施例ではこれらはいずれも真鍮で形成されている。

【００２５】

前記雄係合子主体１１は、円形状の底部１１１の全周囲から高さ寸法ｈが４．５ｍｍ程度で、筒状に側壁１１３を立ち上げ、前記底部１１１の中央には円形の開口部１１２を形成し、底部１１１から下方へ開口部１１２と連続する外径寸法が４ｍｍ程度、下端から底部１１１までの高さ寸法が２．５ｍｍ程度の筒状のかしめ脚部１１０を形成した構成である。

筒状の側壁１１３は下端から上端に至るほど僅かに拡径した傾斜面としてあり、側壁１１３の下端位置では外径９．５ｍｍ程度、側壁１１３の上端位置では外径最大寸法ｗの１０．２ｍｍ程度としてある。

【００２６】

実施例１に係るスペーサ１２は、外径９ｍｍ、高さ３．５ｍｍ程度となる円柱の上面側を、直径６ｍｍ幅、深さ１ｍｍ程度で凹部を形成し、該凹部によって形成された内底面を装飾形成面１２０とし、該装飾形成面１２０に対して装飾を施して装飾部を形成してある。

【００２７】
実施例１に係る装飾用薄板１３は直径１０ｍｍ程度、厚さ０．２ｍｍ程度の円形板状物であり、スペーサ１２の装飾用薄板１３を外部から視認可能とし、且つ装飾用薄板１３における美観を向上させる手段として、エッチング加工によって複数の視認用穴１３０を形成してある。
【００２８】
以上に示した、雄係合子主体１１内に、スペーサ１２を収納し、さらに、スペーサ１２上に前記装飾用薄板１３を配置し、プレス加工によって、雄係合子主体１１の上縁部１１４を内側へ湾曲した構成とすることで、雄係合子主体１１内に、スペーサ１２及び装飾用薄板１３を固定する。
【００２９】
座金２は、上記実施例１に係る雄係合子主体１１を取付対象生地３に対して固着するためのものであり、前記雄係合子主体１１におけるかしめ脚部１１０と連結するものである。前記座金２は、公知の座金２を使用している。即ち、前記雄係合子主体１１のかしめ脚部１１０をかしめて、雄係合子主体１１を取付対象生地３に固着できればよい。
【００３０】
本実施例１における座金２は、図２に示すように、縁部２２を湾曲形状として強度を確保した円形状板材の中央部に隆起部分２１を形成し、該隆起部分２１を貫通する座金穴２０を備えた構成である。
【００３１】
図２に示すように、雄係合子１０と前記座金２との間に取付穴３０を形成した取付対象生地３を介在させ、雄係合子主体１１のかしめ脚部１１０で取付穴３０を貫いて、該かしめ脚部１１０を座金２の座金穴２０を連通し、かしめ脚部１１０をかしめることで、図３に示すように、雄スナップボタン１が取付対象生地３に取着された状態で形成される。
【００３２】
次に、本発明の実施例１に係る雄スナップボタン１と、公知の雌スナップボタン９との係合状態について説明する。図６（ａ）に示すように、表側生地８に取着した公知の雌スナップボタン９は、表面側生地８に形成した取付穴８０を介して表面側装飾部材９０の脚部９３を雌係合部材９１の貫通穴９４にかしめ固定してなる。表面側装飾部材９０には表面側装飾部９２を設けてある。
【００３３】
また、雌係合部材９１は、本願発明における雄スナップボタン１の雄係合子１０と係合する雌係合子９１を形成したものであり、雄スナップボタン１の雄係合子１０を導入するためのガイド穴９５と、雄スナップボタン１の雄係合子１０を押圧するリング状バネ部材９６を備えている。
【００３４】
そして、図６（ｂ）に示すように、公知の雌スナップボタン９の雌係合部材９１と本願発明の雄スナップボタン１の雄係合子１０とを結合させると、装飾用薄板１３が雄係合子１０の上端から突出しない構成としたことで、雌係合部材９１内において、間隙９９が形成され、雄スナップボタン１の装飾用薄板１３に他物（例えば、雌スナップボタン９の表面側装飾部材９０の脚部９３等）が接触しない構成となる。当該構成となることで、装飾用薄板１３に連続使用した際の傷の発生を防止することができ、長期に亘って装飾用薄板１３の外観体裁を良好なものとすることができる。
【００３５】
以上に示した本実施例１の構成によって、図７に示すように、雄スナップボタン１と雌スナップボタン９を離脱し、内側の雄スナップボタン１の雄係合子１０が外部に露呈することとなっても、当該雄係合子１０がその中央部分を含む全体で、美感を想起させる装飾を表すことができるため、外観体裁が非常に良好となる。
【００３６】
（実施例２）

また、本発明においては、実施例１として図１に示すように、装飾用薄板１３にハート型輪郭を有する視認用穴１３０を２０個程度形成するものとしたが、本発明は上記実施例１に限定されるものではなく、例えば、図４に実施例２として、多数の細孔を列設した構成を示したように、装飾用薄板１３の視認用穴１３０の数量、形状、配置、大きさは、適宜自由に設定することができる。

【００３７】

（実施例３）

更に、本発明においては、上記実施例１及び実施例２において、装飾用薄板１３を設けた構成を開示しているが、装飾用薄板１３は必ずしも設けなくてもよい。例えば、図５に実施例３として示すように、雄係合子主体１１内に、スペーサ１２のみを収納し、プレス加工によって、雄係合子主体１１の上縁部１１４を内側へ湾曲した構成とすることもできる。

【００３８】

本実施例３においては、実施例１のような装飾用薄板１３を備えないため、図８に示すように、雌係合部材９１内において、広範囲の間隙９９を形成する。この場合においても、スペーサ１２の装飾部が雄係合子１０の上端から突出しない構成としてあるから、装飾形成面１２０が他物と接触せず、装飾用薄板１３に連続使用した際の傷の発生を防止することができ、長期に亘って装飾用薄板１３の外観体裁を良好なものとすることができる。

【００３９】

また、上記実施例１乃至実施例３ではいずれも金属製のスナップボタンを示したが、本発明は実施例１乃至実施例３に限定するものではなく、合成樹脂製のスナップボタンに適用することもできる。

【００４０】

更に、上記実施例１、２では、取付対象生地３に予め形成した取付穴３０に、取付対象生地３の表面側から雄スナップボタン１のかしめ脚部１１０を貫通させる構成を示したが、本発明は、これに限るものではなく、予め取付け穴３０を形成せず、直接取付対象生地３を雄スナップボタン１のかしめ脚部１１０で貫通することもできる。

【００４１】

本発明における雄スナップボタン１は、衣類（上着、下着、レインコート等）、袋物（例えば、鞄、財布、ケース等、硬質であっても軟質であってもよい。）、その他スナップボタンを有する物品に備えることで、雄スナップボタン１と雌スナップボタン９の離脱時における外観体裁を非常に良好なものとすることができる。

【図面の簡単な説明】

【００４２】

【図１】本発明の実施例１に係る雄スナップボタンの雄係合子の分解状態を示す斜視図である。

【図２】本発明の実施例１にかかる雄スナップボタンの分解状態を示す断面図である。

【図３】本発明の実施例１に係る雄スナップボタンを取付対象生地に取着した状態を示す（ａ）正面図、（ｂ）縦断面図である。

【図４】本発明の実施例２に係る雄スナップボタンの雄係合子の分解状態を示す斜視図である。

【図５】本発明の実施例３に係る雄スナップボタンの雄係合子の分解状態を示す斜視図である。

【図６】本発明の実施例１に係る雄スナップボタンと公知の雌スナップボタンを（ａ）取着前の状態を示す縦断面図、（ｂ）取着後の状態を示す

【図７】本発明の実施例１に係る雄スナップボタンと公知の雌スナップボタンを生地に取着した状態を示す説明図である。

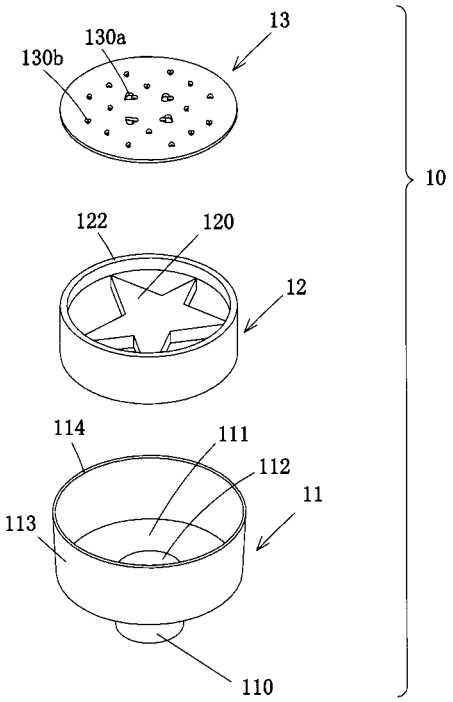
【図８】本発明の実施例３に係る雄スナップボタンと公知の雌スナップボタンを（ａ）取着前の状態を示す縦断面図、（ｂ）取着後の状態を示す説明図である。

【符号の説明】

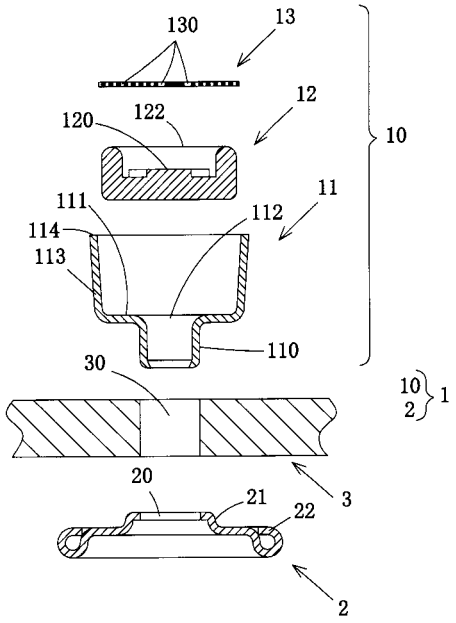
【００４３】

ｈ	高さ寸法
ｗ	外径最大寸法
１	雄スナップボタン
１０	雄係合子
１１	雄係合子主体
１１０	かしめ脚部
１１１	底部
１１２	開口部
１１３	側壁
１１４	上縁部
１２	スペーサ
１２０	装飾形成面
１３	装飾用薄板
１３０	視認用穴
２	座金
２０	座金穴
２１	隆起部分
２２	縁部
３	取付対象生地
３０	取付穴
８	表面側生地
８０	取付穴
９	（公知の）雌スナップボタン
９０	表面側装飾部材
９１	雌係合部材
９２	表面側装飾部
９３	脚部
９４	貫通穴
９５	ガイド穴
９６	リング状バネ部材
９９	間隙

【図１】

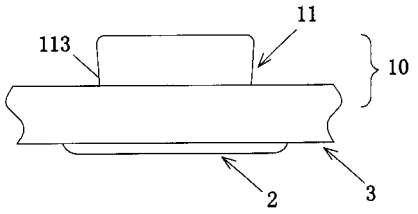

13
130a
130b
10
122
120
12
114
111
112
11
113
110

【図２】

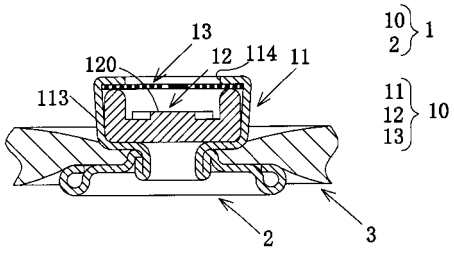

130
13
12
120
122
10
11
111
112
114
113
110
30
10
2
1
20
21
22
3
2

【図３】

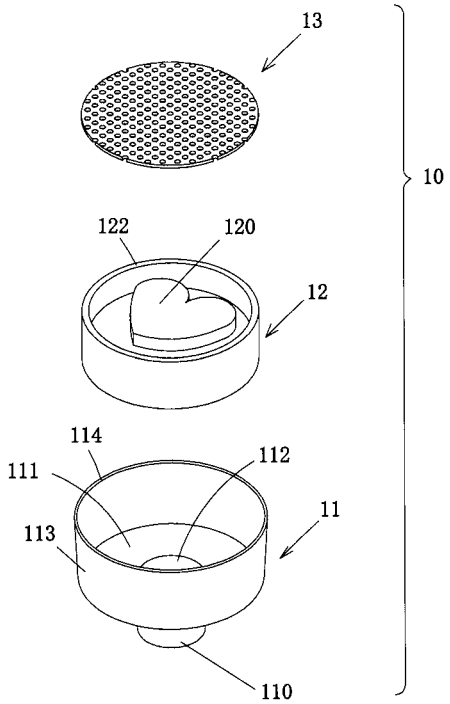
(a)


11
113
10
2
3

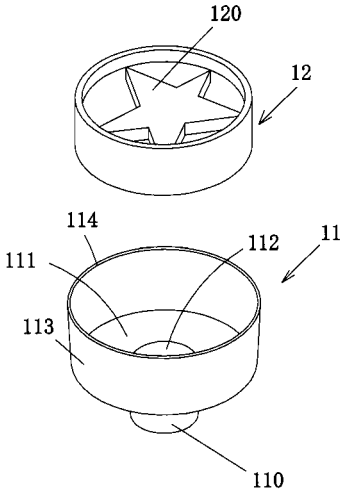
(b)


13
120
12
114
11
113
10
2
1
11
12
13
10
2
3

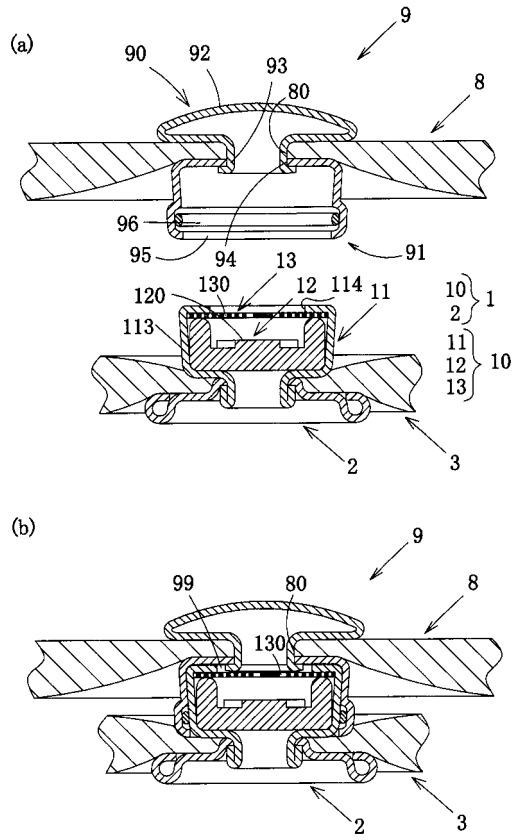
【図４】


13
10
122
120
12
114
111
112
11
113
110

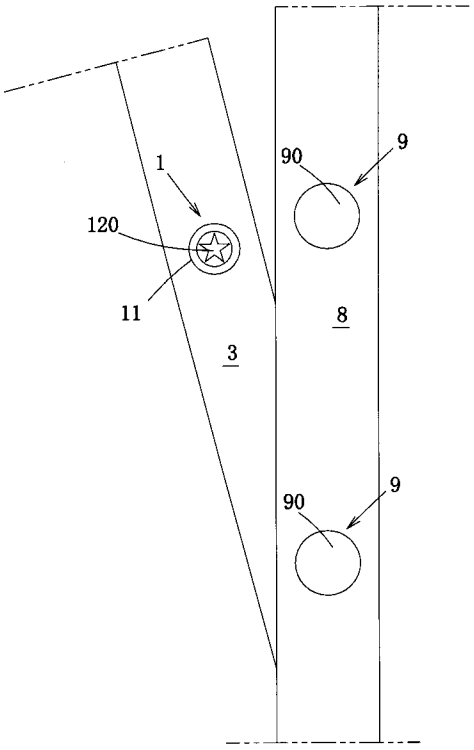
【図５】


120
12
114
112
11
111
113
110

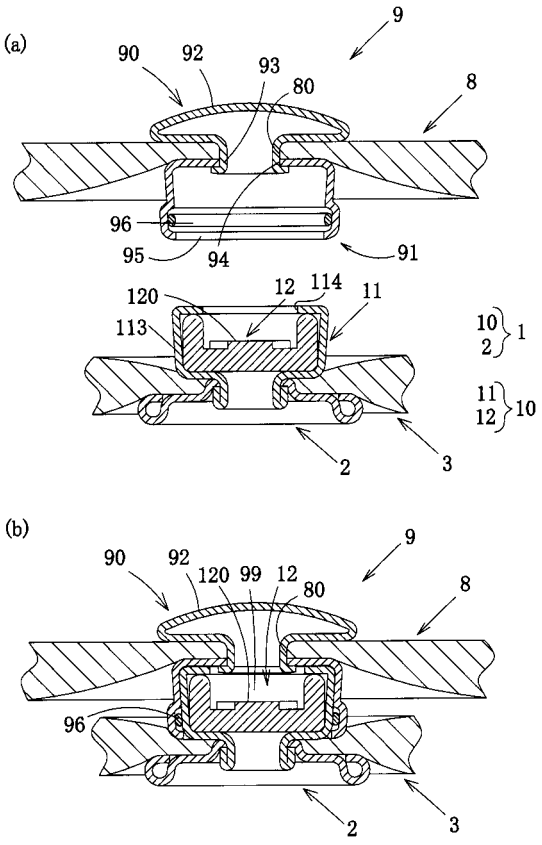
【図６】


(a)
9
90
92
93
80
8
96
95
94
91
13
120
130
12
114
11
113
10
2
1
11
12
13
10
2
3
(b)
9
99
80
8
130
2
3

【図７】


1
120
11
3
90
9
8
90
9

【図８】


(a)
9
90
92
93
80
8
96
95
94
91
120
12
114
11
113
10
2
1
11
12
10
2
3
(b)
9
90
92
120
99
12
80
8
96
2
3